

労働安全衛生・環境マネジメント

私たちの原則

ブルーリーフ・エナジーは、従業員の職場の健康と安全を守るため、事業上の意思決定よりも労働安全衛生に関する事項を優先しています。職場の安全衛生レベルを達成し、維持するために、必要な枠組みとなる原則は以下の通りです。

ブルーリーフ・エナジーは、すべての関係者が労働安全衛生について卓越した実績を上げる責任があると信じています。

- 全従業員および会社の業務に影響を与える人々の職場の健康と安全に対し、CEO が全体的な責任を負います。
- 組織のあらゆるレベルのディレクター、マネージャー、スーパーバイザーは、職場の安全と健康を最優先事項とする、目に見えるリーダーシップを発揮しなければなりません。
- 全従業員は、自身と他者の労働安全衛生を確実に守る行動をとる責任があります。

ブルーリーフ・エナジーは、以下を通じて職場の安全衛生基準を維持・向上させるよう努めます。

- 労働安全衛生に関する法律、方針、システムの義務を満たし、適切な場合にはそれを上回ります。
- サプライヤーおよび請負業者に対し、優れた労働安全衛生パフォーマンスに対する同様の誓約を示すよう求めます。
- 職場の安全衛生パフォーマンスの向上に従業員に奨励し、コミュニケーションを図り、継続的に関与させます。
- 従業員の職場の健康と福祉のために、適切な施設を提供・維持します。
- 従業員の職場の健康と安全が、薬物乱用やアルコール乱用によって悪影響を受けないようにします。
- 新しい安全な作業方法を特定・実施し、事故を防止し、職場の安全衛生パフォーマンスを向上させた従業員を表彰します。
- 業務が第三者の敷地内で実施される場合、当社の方針と矛盾がないことを条件に、現地の職場の安全衛生要件を採用する際に占有者と協力します。
- 労働安全衛生への悪影響を軽減するために、適切な非常時の手順が実施されていることを確認します。

ブルーリーフ・エナジーは、以下を通じて職場の安全衛生実績の継続的改善に努めます。

- 業務慣行に挑戦し、職場の安全衛生パフォーマンスを向上させる方法を提案するよう、従業員に積極的に奨励します。
- 活動の計画及び実施段階において、ハザードの特定とリスクアセスメントを実施します。
- 人身事故、疾病事故、資産損傷につながる可能性のある、あるいはつながった可能性のある事故を分析することで、インシデントの再発防止を図ります。
- 職場の安全衛生の実績を監視し、管理システムの有効性を監査するとともに、そのパフォーマンスに従業員、株主、その他の関係者に報告します。

優れた労働安全衛生の成果を達成するためには、チームワークが必要です。従業員一人ひとりの行動と努力を起点とし、個人、管理職、組織、トップリーダーレベルでの役割と責任を定義した包括的な労働安全衛生管理システムを定めています。同システムは、私たちが健康と安全における目標を達成するための枠組みとして機能し、すべての労働安全衛生活動の計画、実施、文書化、伝達、見直しの継続的なサイクルを定めています。